

# 水道工事の頻発事故

水道局の工事事故全体の約3分の2を占める頻発事故13項目を下表に示します。これら頻発事故の再発防止に取組み、事故の未然防止に努める必要があります。

## 1 第三者災害

- (1) 掘削穴に落ちる (2) ダンプトラック、バックホウと接触
- (3) つまずき転倒する (舗装段差、覆工板周りの陥没、ケーブル、ホース等)

## 2 一般車両による作業員及び誘導員の災害 (もらい事故)

## 3 ダンプトラック等、重機の移動による災害

## 4 掘削作業による災害

- その1 バックホウによる労働災害
  - (1) 挟まれ・巻き込まれ (2) バックでひく (3) バケットからガラ落下
- その2 物損事故
  - (1) 埋設管・埋設ケーブル (2) 架空線
- その3 土砂崩壊災害

## 5 舗装作業 ローラーによる激突災害

## 6 土留め支保工組立・解体作業による災害

- (1) 支保工から墜落 (2) 支保工材の落下 (3) 矢板打込時の埋設物損傷

## 7 クレーン及びバックホウを用いた荷上げ・荷下ろし作業による災害

- (1) クレーンの転倒 (2) つり荷の落下 (3) つり荷に挟まれる
- (4) バックホウによる荷上げ・荷下ろし作業の特有災害

## 8 管布設作業の特有災害

- (1) 水道管の抜け出し (2) 管つり込み時の挟まれ・巻き込まれ (3) 管切断作業の労働災害

## 9 はしごからの墜落災害

## 10 作業員の転倒災害

- (1) 滑って転倒 (2) つまずいて転倒

## 11 機械・設備関連作業の労働災害

- (1) 開口部、建物・設備上からの墜落 (2) 機械・設備への挟まれ・巻き込まれ・感電

## 12 強風による災害 (工事看板等の飛散)

## 13 立木の伐採・伐倒作業による労働災害

# 水道工事事故防止 アクションプラン

# 2015



東京都水道局



監修協力  
独立行政法人  
労働安全衛生総合研究所

※本プランは、東京都水道局のホームページからもダウンロードできます。  
(<http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/>)



平成27年度  
規格表第4類  
登録第162号

# 更なる工事事故防止に向けて

東京都水道局では、平成27年度から平成29年度までを計画期間とする「**水道工事事故防止アクションプラン2015**」を新たに策定しました。

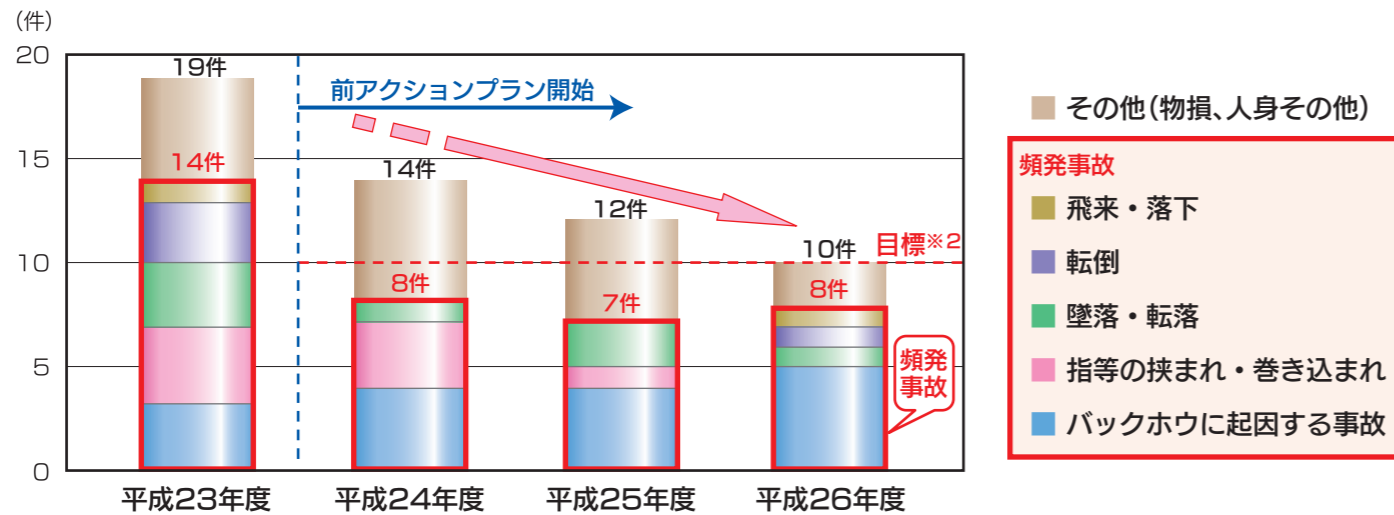
前アクションプランの期間(平成24年度から平成26年度まで)に発生した**事故の原因を分析して必要な対策を講じ、更なる工事事故防止を推進**していきます。

## 前アクションプラン期間の工事事故発生状況

レベル I 以上\*1 工事事故件数は前アクションプランの期間において減少しているが、頻発事故は依然として全体の約3分の2を占め、特にバックホウに起因する事故が多い。

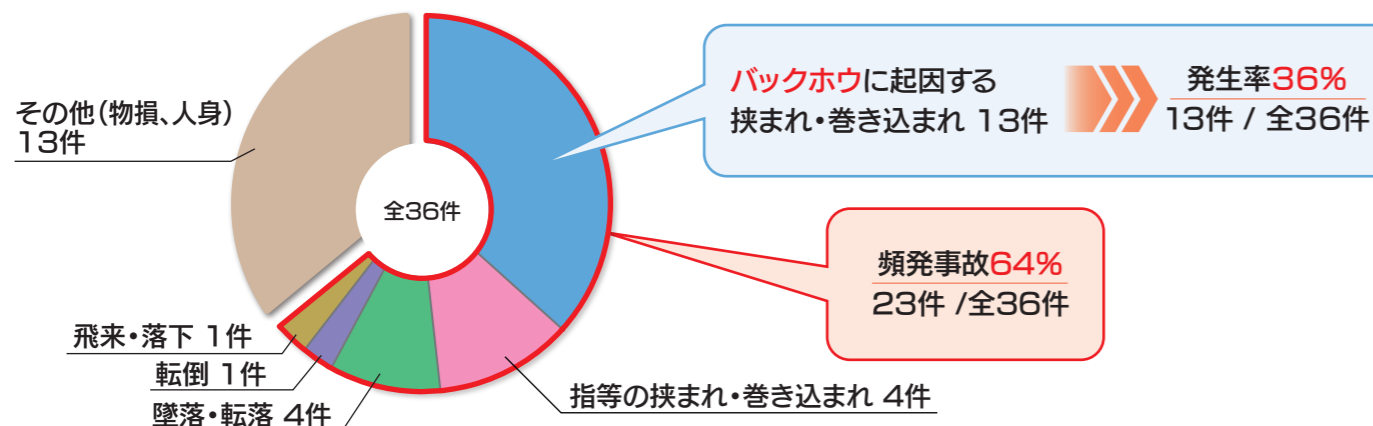
\*1 休業4日以上<sup>1</sup>の負傷または死亡、プレス発表した物損事故等

図1 レベル I 以上工事事故件数(平成23年度から平成26年度まで)



\*2 アクションプランの目標「平成26年度のレベル I 以上の工事事故件数を10件以下」

図2 工事事故件数における頻発事故の割合(平成24年度から平成26年度までレベル I 以上工事事故)



# 水道工事事故防止アクションプラン2015

アクションプラン2015では、以下の目標・取組を設定し、レベル I 以上の重篤な事故の減少を図っていきます。

●計画期間 **平成27年度から平成29年度までの3か年計画**

●行動目標

① **レベル I 以上の工事事故件数を年間10件以下(継続)**

⇒前アクションプランの行動目標を継承し、毎年10件以下を目指す。

② **年間を通じて死亡事故をゼロ(新規)**

⇒平成26年度に死亡事故が発生したことを受け、死亡事故の撲滅を掲げる。

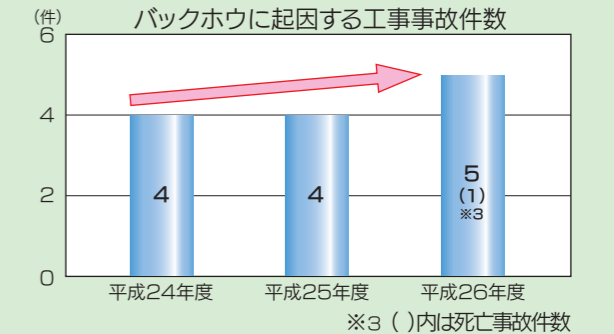
③ **バックホウに起因するレベル I 以上人身事故累計件数を計画期間を通して7件以下(新規)**

⇒レベル I 以上工事事故のうち、バックホウに起因する挟まれ・巻き込まれ事故は、発生すると重篤な事故につながるため、計画期間中に過去3年間で発生した工事事故件数の半減を目指す。

●重点取組(バックホウに起因する事故の減少に向けて)

① **過去3年間のバックホウ事故発生状況**

- ・3年間で合計13件発生
- ・全体のレベル I 以上工事事故が減少しているが、バックホウに起因する事故は横ばい
- ・平成26年度には死亡事故が1件発生



② **バックホウ事故減少に向けた受注者への支援強化**

- ・建設機械誘導員の適宜配置
- ・アクションプランDVDの動画データをHPに掲載
- ・バックホウ事故防止に特化した講習会の実施

(参考) 水道工事におけるバックホウ事故事例(水道工事事故防止アクションプランDVDより抜粋)

